

【国指定・重要文化財（建造物）】

きゅうかごしまぼうせきじょぎしかん

旧鹿児島紡績所技師館

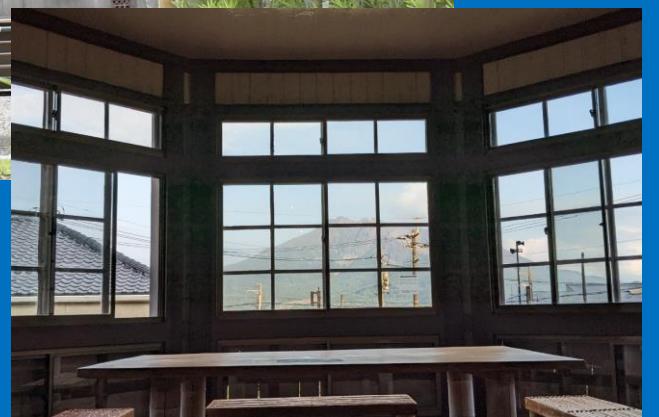
（いじんかん）

（異人館）

昭和37年6月21日指定



- 所在地 鹿児島市吉野町9685-15
- 所有者 鹿児島市
- 特徴



旧鹿児島紡績所技師館は、薩摩藩が建設した鹿児島紡績所（日本最初の洋式紡績工場）に招かれたイギリス人技師7名の宿舎として、慶応3（1867）年に建設されました。幕末から明治初期における洋館として貴重な建造物です。「異人館」と呼ばれることもあります。建物は木造2階建てで、桁行は18.18m、梁間は18.18m、屋根は方形造り、瓦葺きです。玄関は正面中央部に突出した八角形（半分）で、内部はホールになっています。1階は周囲に石畳のベランダをめぐるアーケードとなり、内側に4室、2階は廊下をはさんで3室あり、周囲は窓付きの回廊があります。明治17（1884）年に、鶴丸城跡に鹿児島県立中学校造士館が建設された時に、校舎の一部として移築されましたが、昭和11（1936）年に現地に再移築されています。